

一般演題9-1 高気圧酸素治療における臨床実習指導の 必要性

向畑恭子¹⁾ 赤嶺史郎¹⁾ 宮城宏喜¹⁾

糸数洋貴¹⁾ 清水徹郎²⁾

- | | | | |
|----|-----------|---------|----------|
| 1) | 医療法人沖繩徳洲会 | 南部徳洲会病院 | 臨床工学部 |
| 2) | 医療法人沖繩徳洲会 | 南部徳洲会病院 | 高気圧酸素治療部 |

当院、高気圧酸素治療室は、高気圧酸素治療（以下HBO）対応可能な臨床工学技士が、第2種装置を中心に運営しており、減圧症等の救急を要する疾患に対しては、当直者との連携により24時間体制で行っている。

2007年以降、32名の臨床実習性を受け入れているが、実習形態は養成校によって異なり、臨床工学技士業務全般を目的とした約1ヶ月間の場合と、依頼された領域・期間の実習を行う場合がある。実習内容は、血液浄化関連、医療機器管理関連、ICU・手術室関連、その他の4項目で、各項目を45時間以上、合計180時間以上行うこととなっており、HBOはその他の項目に含まれている。2016年の約1ヶ月間の場合、人工心肺手術、各治療、各外来の日程に応じてスケジュールを調整しながら、各項目48時間、合計192時間の実習を行い、HBOは24時間だった。HBOおよび人工心肺手術中心という依頼があった約2週間の場合、HBOの30時間を含め、合計90時間の実習を行っている。

臨床実習指導評価表は、評価表として用いるだけでなく、担当者が日付とサインを記入し、「いつ」「誰が」「何を」教育したのかを翌日以降に申し送るためにも役立っている。保守点検では、動力源や装置の始業・就業点検を行い、適応疾患、合併症等の説明では、当学会発行のテキストやオリジナルのスライドなどを使用している。治療中には、オペレーターとして患者状態、治療圧、加圧や減圧の速度を把握し、現在の酸素濃度やガスの圧力等を治療経過表に記載するといったことを行い、治療がボタン1つ押すだけで行われているわけではないことを指導している。安全管理では、入室基準、持ち込み禁止物品、患者急変時の対応、HBOの運営を含めたチーム医療の説明等を行っている。

。その他の項目として、通常治療以外の時間帯に、第1種装置を操作する、第2種装置を手動で操作する、加圧体験を行うなど、「見て」「触って」「感じる」体験型の実習を心掛けている。

2012年度から2015年度の期間で、グループ内HBO保有施設は2施設減少し、合計施行件数も減少している状況下で、臨床実習を受け入れている施設は11施設、平均実習時間は5.1時間だった。最も多くの時間を費やしているのは当院の28時間で、少ない施設は、主として治療の見学を行っている状況がうかがえる。そして、診療報酬改定前後で施設数は20と変化はないが、グループ全体の施行件数は25%増加している。改定以降の期間が短いためグループ病院における施行件数の変化や、臨床実習の受け入れ状況、さらには新設・増設を含めたHBO保有施設の動向を見ていく必要があると考えている。

臨床実習は、履修科目や時間に制約があるため、手術、各治療、各外来の日程変更や、依頼される実習の時期を考慮して臨機応変にスケジュールを変更していく必要がある。養成校においてHBOは、講義時間が短く、経験がない職員も多いといった問題点が考えられ、臨床実習も必須項目ではない。また、習熟度が不十分であっても、治療装置を見たことがなくても、臨床工学技士国家試験に合格すれば、装置の操作は容認されるという現実があるため、入職後も学会認定技士（2学会）や専門臨床工学技士（日本臨床工学技士会）の資格取得や高気圧安全セミナー受講等の情報収集、知識や技術の講究が重要であり急務である。

おおよそ3日間の日程で行っている当院のHBO実習において、通常治療以外の時間帯に行う手動操作や加圧体験を希望する実習生は多く、第2種装置は大きいということもあり、強く印象に残るといったヒヤリング結果も得ている。診療報酬改定において収益性が改善されたことにより、HBOの新設や増設もあるとされているが、今こそ安全管理について重要視する必要があると考えている。HBOの需要が増し、養成校でのHBOの講義時間が増加され、臨床実習が必須となり、HBO保有施設での実習生の受け入れが積極的に行われるようになることを熱願してやまない。